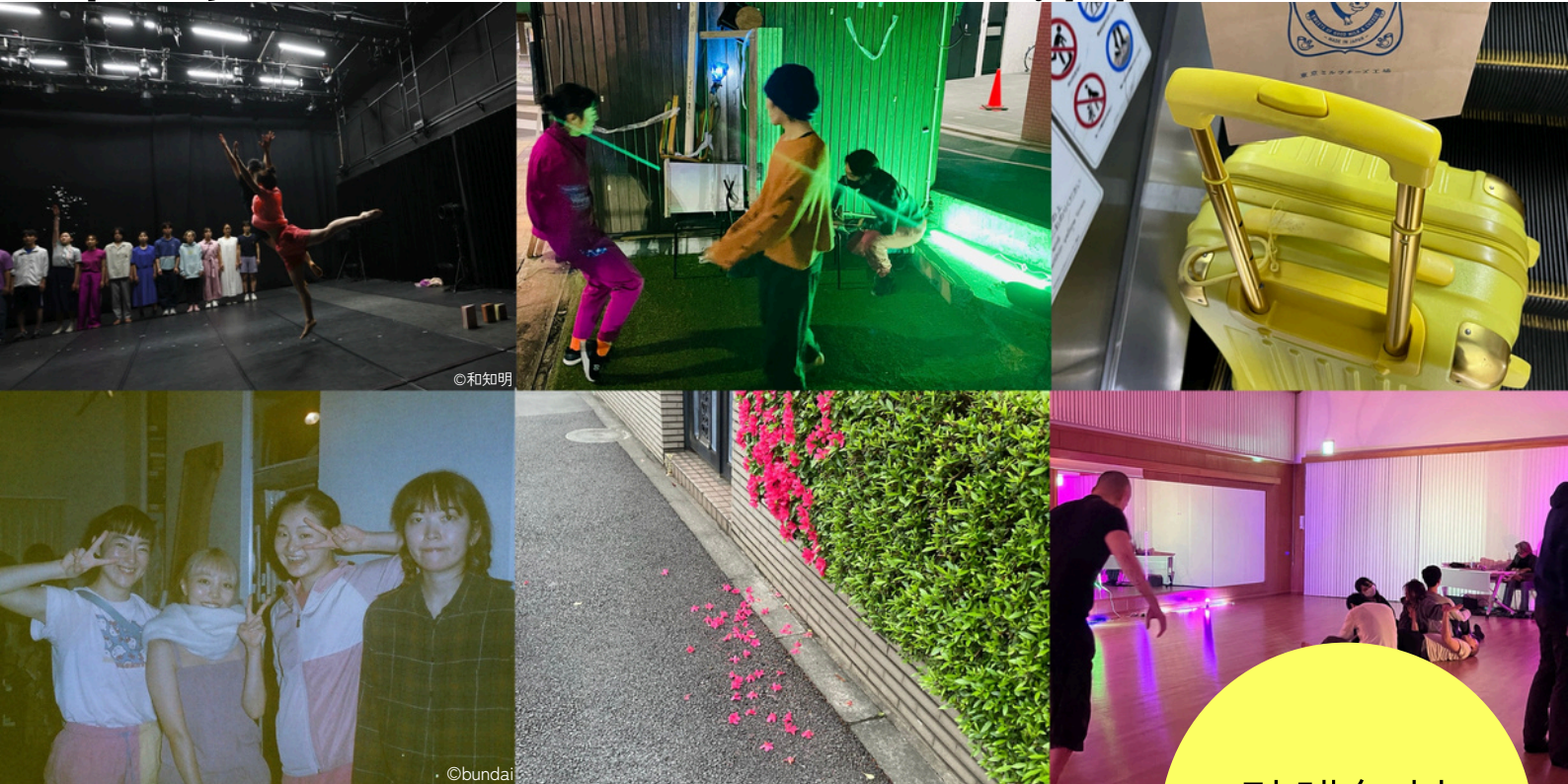


公開講演

東京・ダンス・生活



聴講無料
(要事前申込み)

日時 2025年1月20日(月)
10:40 ~ 12:10

会場 お茶の水女子大学 本館 306教室

講師 加藤 理愛 (ダンサー・振付家)

東京でダンサーをする、作品を作る、さまざまな形ではたらく、
部屋を借りて生活をする、小さくダンス。

社会のどのような場所で、“ダンス”が存在できるのか？
ダンスの可能性について考えます。
ミニ・ダンスワークショップも開催されます。



©Mitsuki

講師プロフィール

加藤 理愛 (かとうりえ)

ダンサー・振付家。1999年生まれ、三重県出身。

お茶の水女子大学芸術・表現行動学科文教育学部舞踊教育学コース卒。幼少よりクラシックバレエを始め、松岡伶子バレエ団附属研究所にて松岡伶子、松岡璃映に師事。2018年よりダンステアトロ21にてダンステクニックを学ぶ。2020～2024年、Integrated dance company 響 -kyoに所属し、倉田翠、浅井信好などの振付家の作品に参加。同時に、インクルーシブダンスワークショップの経験を積む。大学在学時よりダンス作品の創作を始め、2023年には、大学同期とのダンスグループNice To Meet Dance/NTMDの旗揚げ公演「心臓のささくれ」を主催。近年の作品に『Clean Up Party』(2023)、『さよなら』(2024)などがある。ダンス作品とコミュニティが相互に影響し、変化していく過程に創作上の関心がある。

女屋理音と共に、お茶の水女子大学創立150周年記念作品を創作予定。

本講演は、「舞踊における色・音・香」の授業の一環として行い、受講学生も聴講します。

お申込・お問合せ：nakamura.minako@ocha.ac.jp

お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子